

科目名	発達心理学Ⅱ	
担当者	松田 君彦 / MATSUDA, Kimihiko	
科目情報	心理臨床<福祉臨床> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	人間の誕生前後から死に至るまでの生涯を対象とした、発達に関する基礎的理論や捉え方を紹介する。また、さまざまな時期における対人関係が、生涯を通しての心の発達にどのような影響を及ぼすかを考える。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の心理的発達に関する基本的な概念や理論について理解する。</li> <li>人間は『関係的存在』であり、関係の質が発達を左右することを理解する。</li> </ul>
授業計画	(1) 1) 発達心理学とは：発達の捉え方（遺伝か環境か、…）、発達研究法、 (2) 胎児期・乳児期の発達：いつから人として発達するのか (3) 胎児期・乳児期の発達：身近な人との出会い (4) 幼児期の発達：ものの見方とイメージの世界 (5) 幼児期の発達：広がる子どもの世界（ことば、遊び、…） (6) 幼児期の人間関係：親との関係、仲間関係、…… (7) 乳幼児期の心理臨床的問題：愛着障害、…… (8) 児童期の発達：学び方の発達 (9) 児童期の発達：ものの感じ方の変化、動機づけの変化 (10) 児童期の発達：仲間関係の発達過程（児童期の出会いと別れ） (11) 青年期の発達：自分探しの旅、青年期の友だちとの出会いと別れ (12) 児童期・青年期の心理臨床的問題：ギャング・エイジの喪失、… (13) 成人期の発達：大人としての社会的責任 (14) 中年期・老年期の発達と問題 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。</li> <li>意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。</li> </ul>
	事後学習	適宜、授業の初めに前回の授業内容の小テストを行う。
使用教材・参考文献	【教】 浜崎隆司・田村隆宏編著『やさしく学ぶ発達心理学』、ナカニシヤ出版、2011年。 【参】 授業中に、適宜紹介する。	
成績評価方法と基準	<基準> 上記の到達目標が達成されたものを合格とする。 <方法> 試験(80%)、授業中の小テスト(20%)	
備考		